



トガリハリバエ

ヤドリバエの仲間

ヤドリバエ科 体長 8 ~ 14mm

ヤドリバエの仲間は、チョウやガの幼虫(これを寄主と呼ぶ)の体表に産卵し、孵化した幼虫は寄主の体内に侵入し寄生する。寄主が蛹になるころにヤドリバエの幼虫は脱出し罍蛹(いよう)をつくる。スズメガやアゲハの幼虫を飼育してみると、トガリハリバエやブランコヤドリバエが寄生していることが多い。



ブランコヤドリバエ



寄主と脱出した幼虫



幼虫と罍蛹

ムシヒキアブの仲間

大きな複眼の頭部、がっちりした胸部、細長い腹部を持ち、昆虫類をがっちりと捕らえ体液を吸う。幼虫は土中や朽木中で育つ。草地や林縁にいる。



シオヤアブ

ムシヒキアブ科
体長 22 ~ 30mm
大型種で、雄の腹端部には白い毛が密生している。



幼虫



アオメアブ

ムシヒキアブ科
体長 20 ~ 29mm
大型種で、大きな複眼が緑色やオレンジ色に輝く。



マガリケムシヒキ

ムシヒキアブ科
体長 14 ~ 23mm
小型でほっそりしたムシヒキアブ。